

令和元年度

第2回 柏市生涯学習推進協議会

会議資料

令和元年10月29日

柏市生涯学習推進協議会 委員名簿

※敬称略，五十音順

	氏名	職等
	あきば なおみ 秋場 奈緒美	公募委員
会長	いけざわ まさこ 池沢 政子	開智国際大学名誉教授
	いわぶち ひろみ 岩渕 弘美	「みんなの子育て広場」支援コーディネーター
	うえの ひろみ 上野 妃呂美	元柏市立保育園父母の会連合会長
副会長	しみず まさふみ 清水 雅文	社会保険労務士 キャリアコンサルタント
	すえたけ まゆみ 末武 真由美	千葉県立柏特別支援学校教諭 特別支援教育コーディネーター
	たかはし ふみなり 高橋 史成	柏市社会福祉協議会地域福祉課長
	つねの まさとし 常野 正紀	多世代交流型コミュニティ実行委員会代表
	ないとう まさとし 内藤 正寿	さわやかちば県民プラザ所長
	なみき たかき 並木 孝樹	柏市立光ヶ丘小学校長
	ねもと としはる 根本 利治	柏市ふるさと協議会連合会長
	まきの あつし 牧野 篤	東京大学大学院教授
	みよし れいこ 三好 玲子	かしわ子育てまちづくりネットワーク・ここっと代表

任期：令和元年6月1日（末武委員については、同年8月1日）から令和3年5月31日まで

柏市生涯学習推進協議会 出席職員名簿

所 属	職 名	氏 名
生涯学習部	部 長	おぬき しょうぞう 小 貫 省 三
生涯学習課	課 長	たかむら あきら 高 村 光
	統括リーダー	ふなこし やすなり 船 越 泰 成
	統括リーダー	わたなべ まさえ 渡 邊 雅 恵
	副主幹	みたがみ としこ 三 田 上 稔 子
	副主幹	やまもと さとこ 山 本 郷 子
	主事補	たかの あや 高 野 彩
	生涯学習専門 アドバイザー (生涯学習分野)	はえぬき ひろたか 萌 拔 博 孝
	いしい れいこ 石 井 礼 子	
	ば ば ひでき 馬 場 秀 樹	
教育総務課	課 長	いしだ きよし 石 田 清
中央公民館	館 長	さかぐち そのこ 坂 口 園 子
図書館	館 長	はしもと けんいちろう 橋 本 賢 一 郎

次 第

- 1 開会
- 2 生涯学習部長あいさつ
- 3 事務局より報告
- 4 本日の協議
- 5 今後の開催予定
- 6 閉会

目 次

1	前回の協議会の振り返り	1
2	第1回柏市生涯学習推進本部実務部会の開催を受けて	2
3	柏市生涯学習推進計画の位置付けについて	5
4	生涯学習を取り巻く社会の状況と柏市の現況について	6
5	第4次柏市生涯学習推進計画の方向性について	11
6	本日の協議事項について	15
7	今後のタイムスケジュール（予定）	16

1 前回の協議会の振り返り

今後、第4次柏市生涯学習推進計画を策定していく上で、重要なお考えや貴重なご意見を頂戴しました。

- 「生涯学習」という言葉がなかなか私たちの生活の近くにいないような気がする。
- 生きていながら知らないうちに関わっていて、それがイコール生涯学習だったという認識をしないまま活動していらっしゃる方が多いと思う。
- 生涯学習は、一番広い概念なら、生活が良くなってきたというプロセスにいれば、生涯学習をしていることになる。
- 楽しさや自分のためというところから入ってもらって、結果的に生涯学習につながらないだろうか。
- 「公共機関がやればやるほど固く感じてしまっていて、そのあたりの柔らかさをどう出していくかというのがポイントではないか」と言われることもある。
- 生涯学習推進計画は行政の計画であって、市民が活用しないからどうしていいかという議論にはならないものだろう。柏市がこういう課題を抱えているから、あるいは社会状況の変化に応じてこうすべきだという議論から作られていくものではないか。
- 一人一人がお互いに配慮し合いながらもっと良い社会を作ろうとか、個人がより良い生活をしたい、その為に社会との関係を深めていく営みそのものが生涯学習なんだという位置づけで良いと思う。
- 情報を発信していくことが大事なので、発信の仕方の発想を変えると良いのではないか。
- 情報を発信して待っているのではなくて、自ら出て行くこと、いろいろな方とつながろうとすることも大事であると思う。
- 「生涯学習推進委員」の再構築という課題を進めてほしい。
- 上位計画である市の第五次総合計画の「教育」に関わるのところと、教育振興計画の文言を出していただいたうえで、この生涯学習推進計画がどう位置づいているか示してほしい。

2 第1回柏市生涯学習推進本部実務部会の開催を受けて

(1) 生涯学習推進本部実務部会の設置

実務部会概要

部 名	課（部署）名
企画部	企画調整課
地域づくり推進部	協働推進課・地域支援課
保健福祉部	障害福祉課
保健所	地域保健課
こども部	子育て支援課
生涯学習部	教育総務課・生涯学習課・中央公民館・図書館
学校教育部	指導課
社会福祉協議会	地域福祉課

※本部長の指名により各所属から実務担当者を招集。必要に応じて追加招集。

(2) 第1回実務部会のまとめ

【第3次柏市生涯学習推進計画の重点施策の進捗状況等】

第3次計画において設定した行動目標と成果目標を基に、担当課が毎年進捗管理を行っている。このことについて、課ごとに現状の課題認識と第4次計画策定への方向性を共有した。

柏市が取り組むべき重点施策（3本の柱）

- 1 地域づくりへの参画支援
- 2 子育て・親育ちの支援
- 3 生涯学習情報の提供

1 地域づくりへの参画支援

(1) 地域のために何かをしたいと考える人材の発掘，育成

- ・講座数，参加者数等が緩やかに増加。今後も継続的に実施。
- ・ボランティア講座参加者と活動の場のマッチングに課題。福祉と生涯

学習の融合を進めたい。

市民大学 人材発掘の効果を上げるために事業の見直しを実施。若者を中心にした「KIKAI」プロジェクトの側面支援に徹している。

(2) 地域課題をともに解決していくための活動をする団体等への支援

- ・補助金制度による団体支援は堅調に推移，継続して実施。
- ・交流センター等の運営 パレット柏は，会議室もギャラリーも盛況であるが，発展途上。複合施設としての方向性を模索しつつ推進。

(3) 生涯学習実施機関のネットワーク化

- ・当事者団体との連携の取り方が変化している。緩やかなネットワーク作りに取り組む。また，実態が把握しづらい事業もあり難しい状況。

2 子育て・親育ちの支援

(1) 子育ての楽しみや不安を分かち合える環境づくり

地域子育て支援拠点事業 安定した活動が軌道に乗っているが，人口増加途上にある北部地域の拠点不足への対応を検討中。

母と子のつどい 平成30年度から，事業主体を市保健師から柏市民健康づくり推進員に移し，地域独自の内容にすることでアンケートで高い満足度を得ている。効果の評価指標（参加人数）の検証が必要。

(2) 安心して子育てができる情報提供・相談体制の充実

利用者支援事業 相談事業において，母子保健型と基本型の担当課間の連携の取組が未実施。

はぐはぐ柏 ニーズの高い子育て情報をLINE配信。閲覧多数。

3 さまざまな生涯学習情報，ライフスタイルの変化に対応した学習機会の提供

- ・生涯学習情報提供システムの閲覧数が増加する一方，動画配信等の発信手段の工夫については調査段階にある。

【第4次計画策定に向けて加えるべき情報の共有】

- ・ 障害者の生涯学習

「学びのユニバーサルデザイン」を基本目標とする流れがある。障害分野に関わらず、福祉人材はまちづくりでの活躍が期待される。関連部署が同じ方向性を持って地域とつながるために考えられることは多いと思う。

- ・ 図書館のあり方

「図書館のあり方」を策定し、その具現化に取り組んでいる。生涯学習推進計画の中では、社会教育施設として情報の提供・発信・ストックなど、役割を果たしていきたい。

- ・ コミュニティ・スクール

学校が困難な状況にある中で「社会に開かれた教育課程」を柱に教育改革を捉えている。コミュニティ・スクールが立ち上がったが、実際にはこれからである。会議の成熟に合わせ、地域と学校が双方向のつながりを持ちたい。

- ・ 総合計画との関連

法定業務でない生涯学習推進計画の策定においては、課題認識が一番重要である。関連部署間で課題を共有した上で、新計画の議論を進めてはどうか。

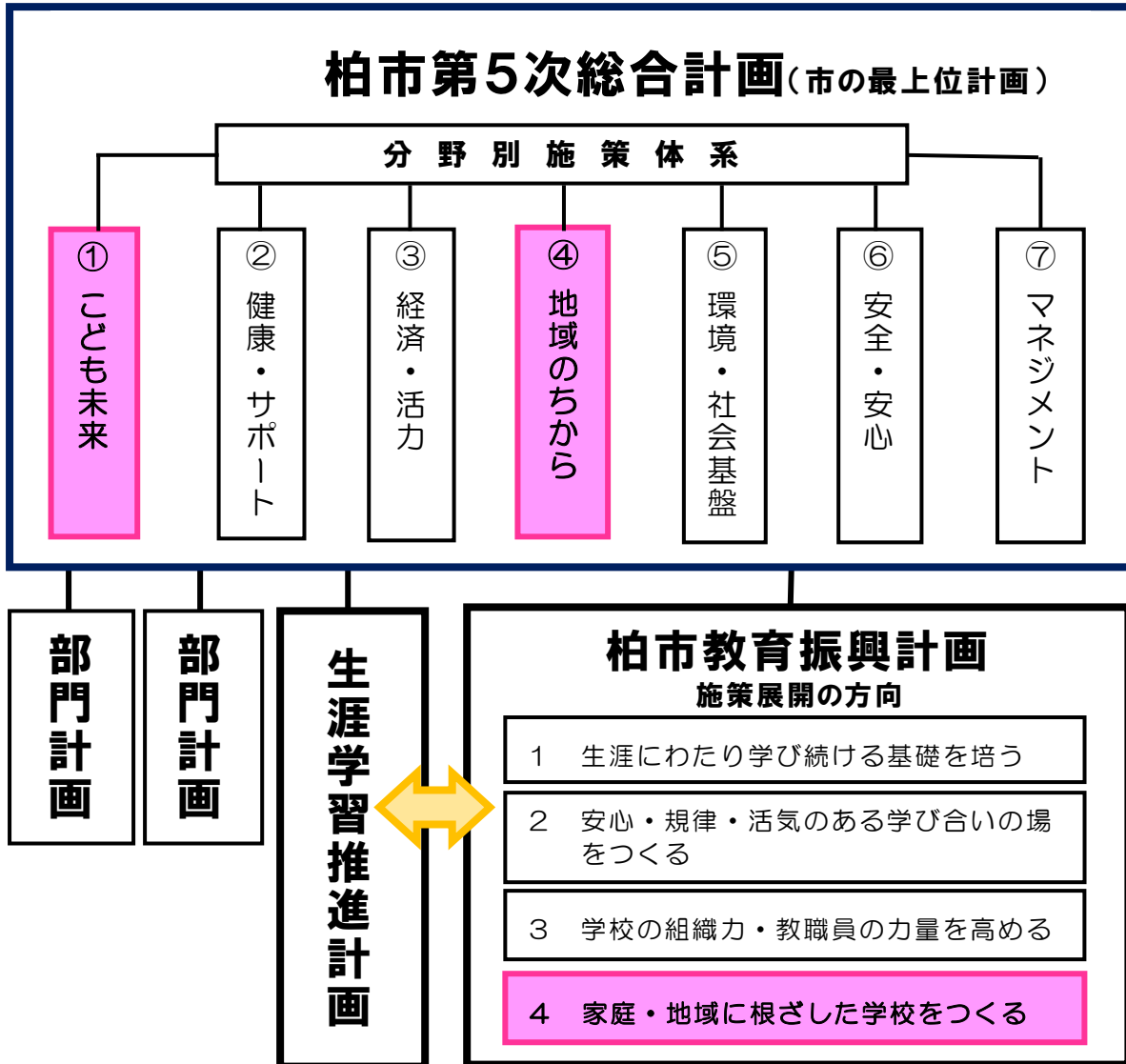
(3) 今後の実務部会の動き

第2回（11月27日）	第4次生涯学習推進計画の方向性について
第3回（2月中旬）	第4次生涯学習推進計画の骨子案作成 市民アンケートの結果報告について

- ・ 第3次計画の重点施策の進捗管理や課題の洗い出しを継続して行う。
- ・ 関連部署間で情報共有しながら第4次計画の具体的な方向性を検討。

3 柏市生涯学習推進計画の位置付けについて

上位計画との関係及び計画期間



平成／令和	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
西暦	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
柏市第五次総合計画	柏市第五次総合計画 (平成28年度～令和7年度)									
柏市教育振興計画	現・柏市教育振興計画					新・柏市教育振興計画				
柏市生涯学習推進計画	第3次生涯学習推進計画					第4次生涯学習推進計画				

4 生涯学習を取り巻く社会の状況と柏市の現況について

(1) 社会をめぐる状況

- ・人口減少
- ・高齢化
- ・AI等の技術革新
- ・グローバル化
- ・地域間格差
- ・社会の多様化・複雑化
- ・地域コミュニティの弱体化
- ・子育て環境の変化
- ・人生100年時代
- ・超スマート社会（Society5.0）

(2) 生涯学習・社会教育をめぐる状況

- ・個人の学びのニーズの多様化
- ・社会課題の多様化・複雑化
- ・NPO等が様々なニーズに対応した多様な学びを提供
- ・企業等によるCSR活動，多彩な地域貢献活動
- ・大学・専門学校による社会人等への学びの機会の提供

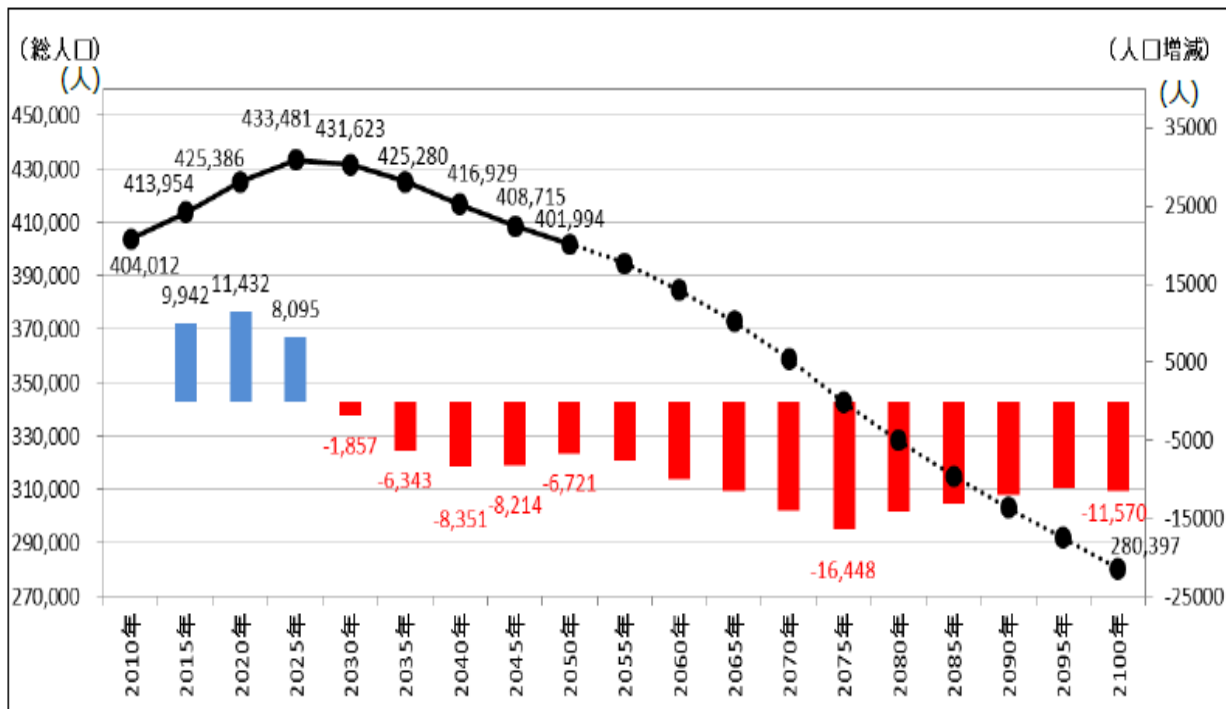
(3) 国の動き

- ・2015年12月 新しい時代の教育や地方創生に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）
- ・2017年 3月 社会教育法の改正
- ・2018年 6月 第3期教育振興基本計画（答申）
- ・2018年12月 人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）

(4) 柏市の将来人口推計

ア 総人口（推計期間は、2020年～2050年まで。以降の数値は、参考値）

- ・ 柏市の総人口は、2025年の433,481人をピークに、減少局面に入る。
- ・ 減少規模の最初のピークは2035年→2040年で、この5年間に8,351人が減少すると見込まれる。
- ・ 次のピークは2070年→2075年で、2035年→2040年のおよそ2倍となる16,448人が減少する見込み。
- ・ 柏市の総人口はゆるやかに減少していくように見えるが、5年ごとの減少数は期間によって大きく異なる。



総人口と期間別人口増減数

イ 年齢区分別人口

(ア) 年少人口

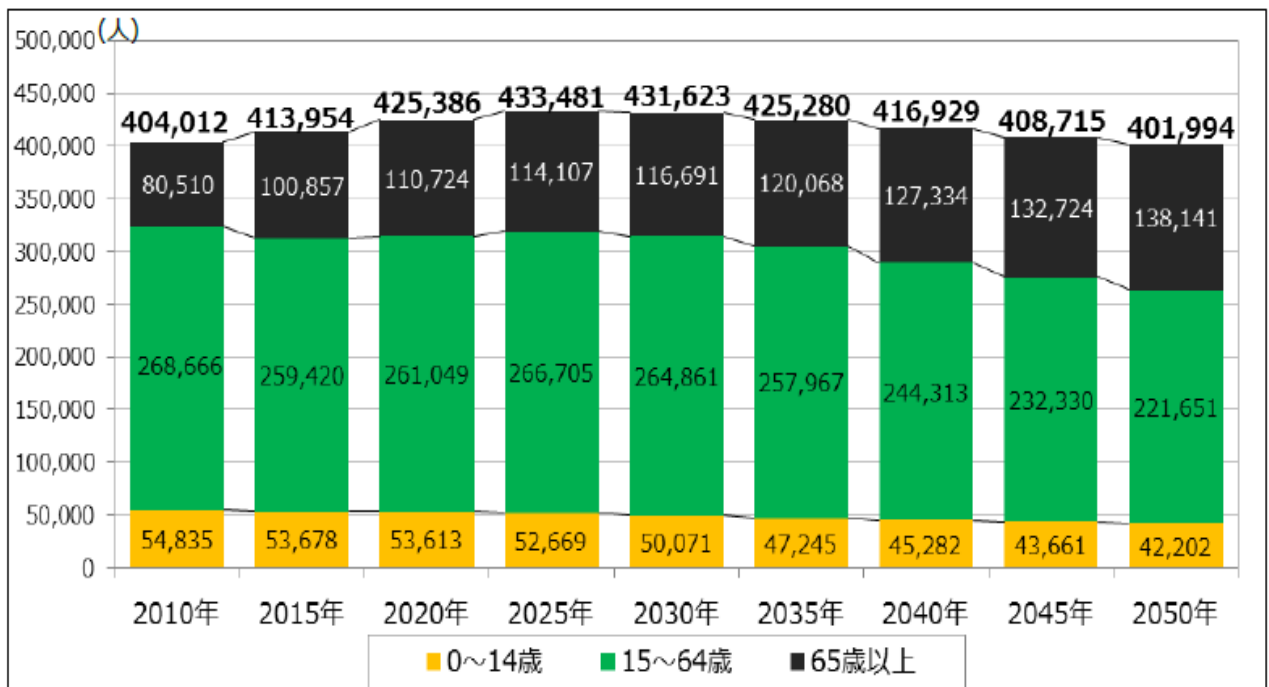
- ・ 柏市の年少人口（0～14歳人口）は、2010年の54,835人（13.6%）をピークに減少を続け、2035年には5万人を下回って47,245人（11.1%）に、2050年には42,202人（10.5%）と、2015年よりも約1万1千人減少する見込みである。

(イ) 生産年齢人口

- 柏市の生産年齢人口（15～64歳人口）は，2010年から2015年にかけて減少したものの，2025年までは増加する見込みである。
- しかし，その後は再び減少し，2035年には26万人を切って257,967人（60.7％）に，2050年には221,651人（55.1％）と，2015年よりも約3万8千人減少する見込みである。
- 1970年代前半生まれの団塊ジュニアが65歳に達する2035年→2040年以降はおよそ2％弱減少していく見込みである。

(ウ) 老年人口

- 柏市の老年人口（65歳以上人口）は，団塊の世代が「老年人口」となったことにより，2010年の80,510人（19.9％）から，2015年の100,857人（24.4％）と大きく増加した。
- 今後15年間程度は，比較的緩やかに高齢化が進み，2035年には120,068人（28.2％）に，2050年には138,141人（34.4％）となる見込みである。



年齢3区分別人口将来推計人口

(5) 柏市の課題

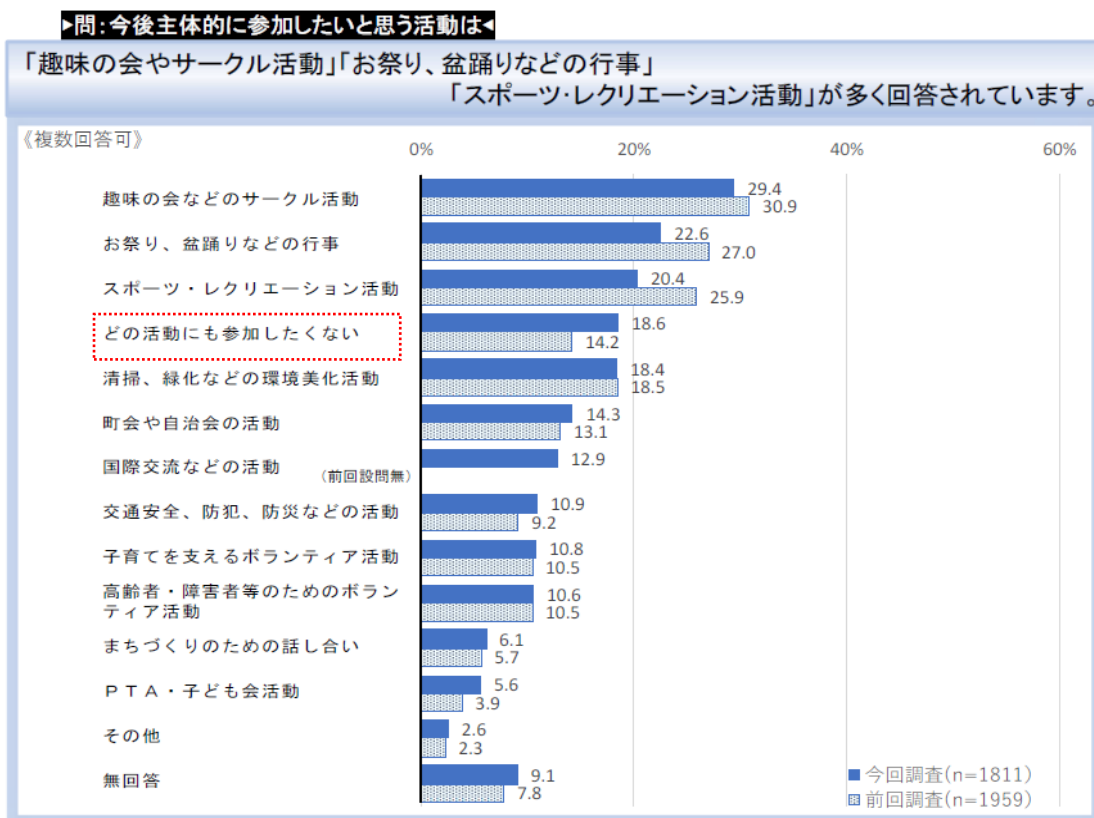
ア 地域コミュニティの活性化

「平成30年度柏市まちづくり推進のための調査」によると、「交通安全、防犯、防災」や「PTA・子ども会」への参加は増加傾向。自分自身や家族の生活に利害や影響がある活動には、主体的に参加したいと考える傾向がある。

「お祭り、盆踊りなどの行事」や「スポーツ・レクリエーション活動」などの親交や交流の機会となるような活動に主体的に参加するのは、消極的な傾向がある。

地域活動については、第5次総合計画の重点施策である「地域への参加と活動の促進」を実現するため、「地域コミュニティの活性化」や「多様な市民活動の支援」に取り組んでいるが、地域活動への参加はあまり進んでいない。

「どの活動にも参加したくない」とする回答割合が増えているため、地域活動の目的や必要性等を市民に発信していくことが必要と考えられる。



今回調査は、H30年度
前回調査は、H28年度

イ 子育て世代への支援

「平成30年度柏市まちづくり推進のための調査」によると、「親子が気軽に立ち寄って交流や相談ができる場所」や「子育てについて、学べる場」、「子育てに関する情報」など、親に対する相談や支援、情報の提供への評価が低い。

親子が気軽に立ち寄り、相談や交流ができる場として「地域子育て支援拠点」の整備を進めてきているが、まだ、認知度等が高くない。

子育てに関する情報提供などのソフト面での評価が低いことから、「子どもの健やかな成長支援」として、総合的な支援体制の整備や子育て情報体制の整備を充実していくことが必要と考えられる。

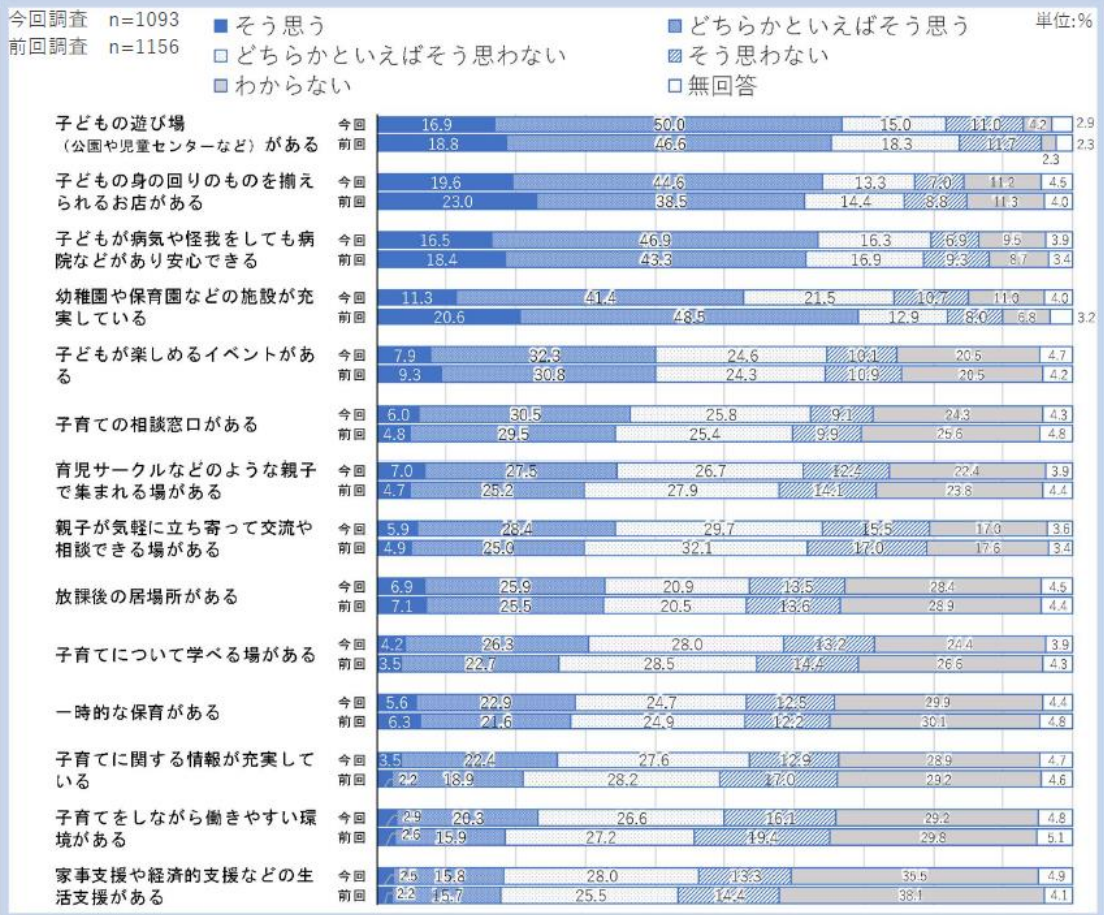
家庭環境の変化や、少子高齢化、地域におけるつながりの希薄化に伴い、子育て家庭の孤立が懸念され、子育てについての悩みや不安を多くの家庭が抱えながらも、家庭外で身近に相談できる相手が少ない。

▶問:子育てしやすいと思う理由◀

【子育てしやすいまちかで「わからない」と回答した方以外への質問】

“子どもの遊び場” “子ども用品の買い物環境” “医療環境” が評価されています。

今回調査は、H30年度
前回調査は、H28年度



5 第4次柏市生涯学習推進計画の方向性について

(1) 目指す生涯学習像

笑顔と元気が輪となり広がるまち柏
(仮)

柏市第五次総合計画で設定した本市の「目指す将来像」

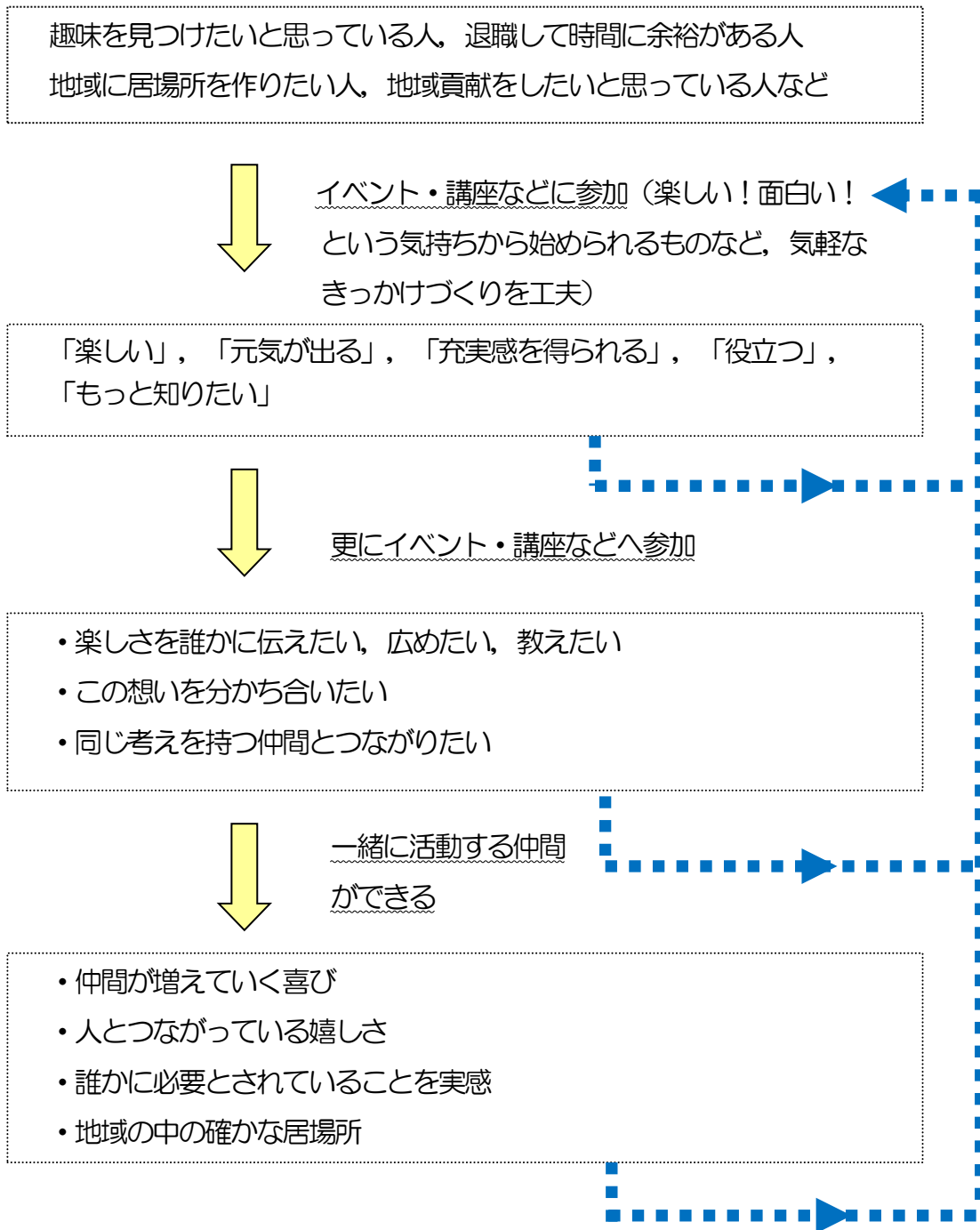
未来へつづく先進住環境都市・柏
～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～

総合計画におけるこの将来像は、①先進的なまちをつくる ②持続可能なまちをつくる ③地域課題を克服した暮らしやすいまちをつくる という視点から設定されたものである。

少子高齢化、地域を支える力の低下等の課題を克服するためには、地域力を高め、全市的に波及させていく必要があるという視点は、生涯学習の推進においても共通する考え方である。

学びへの参加をきっかけに、人とつながり、地域とつながることで、人々の笑顔と元気が輪となり柏のまち全体に広がって、地域課題の解決につながることを目指し、この生涯学習像を設定した。

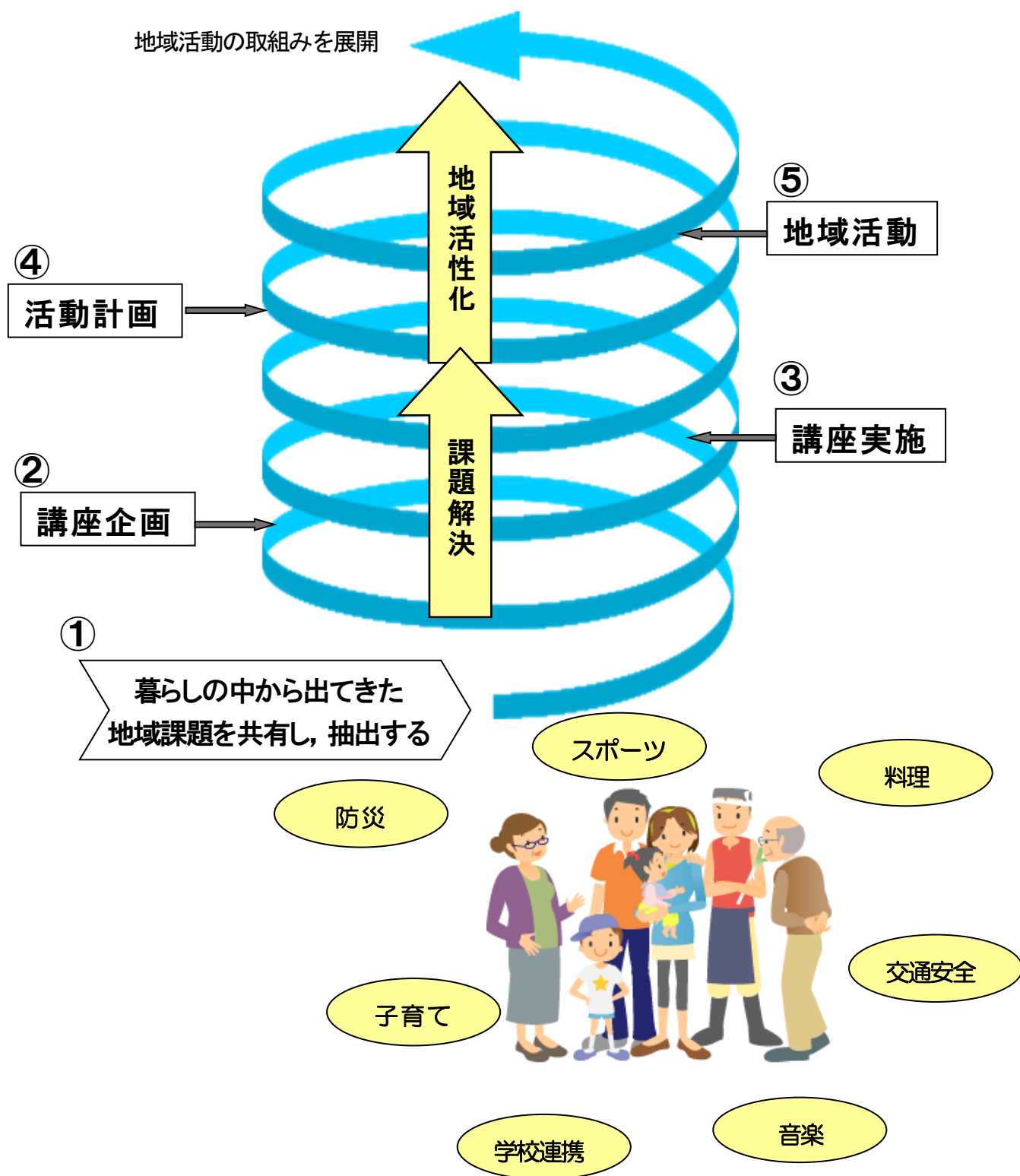
(2) 生涯学習像実現へのイメージ



今度は、自分がイベントの主催者や講師として地域に還元する

地域の一員であり、主役であることの喜びや
充実感の中で生活できる

行政の側から見た、学びと活動の循環（イメージ図）



(3) 第4次柏市生涯学習推進計画の重点施策

重点施策① 『はじめるきっかけ』をサポート

楽しさをベースにした学びなど、活動のきっかけづくりを工夫することで、これまで参加が少なかった世代も主体的に活動できるような方策を工夫する。

- ◆ あらゆる世代が参加できる様々な学びの提供
- ◆ あらゆる人に柔軟に対応した学びの提供

重点施策② 『もっと知りたい、つながりたい』をサポート

楽しい！面白い！という気持ちから、もっと深く知りたいという思いへと発展。独学による自己の充足はもちろん、仲間と共に学ぶことにより、人と人とのつながりが生まれる。

学びによるつながりは、地域における交流や連帯感を深め、地域のコミュニティづくりにつながることを期待される。

- ◆ 団体同士の交流
- ◆ 大学や民間事業者との連携

重点施策③ 『ひろく伝えたい』をサポート

学びから広がる交流の輪は、更なる学びや地域活動のきっかけとなり、学びの循環が生まれる。

自らが講師となって、学んだ成果を伝えることは地域の活性化にもつながる。

- ◆ 人材の育成
- ◆ コミュニティの育成

6 本日の協議事項について

(1) グループワークの実施

今回の議題

第4次柏市生涯学習推進計画の方向性について

(2) 議題についての補足

「5 第4次柏市生涯学習推進計画の方向性について」で説明した次期計画の方向性（(1)目指す生涯学習像，(2)実現へのイメージ，(3)3つの重点施策）を受けて，生涯学習像やその達成方法などについて，意見を出し合い，グループごとに話し合ってください。

7 今後のタイムスケジュール（予定）

	柏市生涯学習 推進協議会	柏市生涯学習推進 本部実務部会	教育・生涯学習・芸術 文化に関するアンケート
令和元年 8月	27日 協議会①		
9月		27日 部会①	
10月	29日 協議会②		
11月		下旬 部会②	上旬 アンケート用紙配付 末日 アンケート用紙回収
12月			
令和2年 1月	下旬 協議会③		中旬 アンケート集計 (速報)
2月		中旬 部会③	
3月			中旬 基礎調査報告書納品